

『電気・電子・情報職 パーフェクト演習講座 電力工学』(KU12797) 訂正表

2016年03月16日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
		誤	正	
P. 33	[No. 30] 解説タイトル	[No. 30] 〈電気機器/同期機(発電機)〉 正解 <u>4</u>	[No. 30] 〈電気機器/同期機(発電機)〉 正解 <u>1</u>	2016/2/3
P. 33	[No. 30] 解説文 5行目以降	$\frac{1000 \times 4}{120} = \frac{N \times 8}{120}$ $\therefore N = \underline{2000} \text{rpm}$ となる。 よって、正解は <u>肢4</u> である。	$\frac{1000 \times 4}{120} = \frac{N \times 8}{120}$ $\therefore N = \underline{500} \text{rpm}$ となる。 よって、正解は <u>肢1</u> である。	2016/2/3
P. 35	[No. 36] 解説	[No. 36] 〈電気機器/直流機〉 正解 <u>5</u> 磁極数 $2p$ 、電機子導体数 Z 、各磁極の磁束 ϕ 、回転速度 n 、 <u>並列回路数 $2a$</u> とすれば、この発電機の誘導起電力 E は、 $E = k\phi n = \frac{Z}{a} \cdot \frac{n}{60} \cdot p \phi \text{ [V]}$ より、 $E = \frac{Z}{a} \cdot \frac{n}{60} \cdot p \phi = \frac{480}{1} \times \frac{900}{60} \times 4 \times 0.01 = \underline{288} \text{ [V]}$ である。ただし、 <u>並列回路数 $2a$</u> は、波巻で2、重ね巻で p であるので、本間は <u>$a=1$</u> である。 よって、正解は <u>肢5</u> である。	[No. 36] 〈電気機器/直流機〉 正解 <u>3</u> 磁極数 p 、電機子導体数 Z 、各磁極の磁束 ϕ 、回転速度 n 、 <u>並列回路数 a</u> とすれば、この発電機の誘導起電力 E は、 $E = k\phi n = \frac{Z}{a} \cdot \frac{n}{60} \cdot p \phi \text{ [V]}$ より、 $E = \frac{Z}{a} \cdot \frac{n}{60} \cdot p \phi = \frac{480}{2} \times \frac{900}{60} \times 4 \times 0.01 = \underline{144} \text{ [V]}$ である。ただし、 <u>並列回路数 a</u> は、波巻で2、重ね巻で p であるので、本間は <u>$a=2$</u> である。 よって、正解は <u>肢3</u> である。	2016/3/16

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/kaitei>)に掲載された日付です。